

市では「富士見市男女共同参画推進条例」を制定し、性別にかかわらず、個人の能力が尊重される社会をめざして“いっぽいっぽ”取組みを進めています。

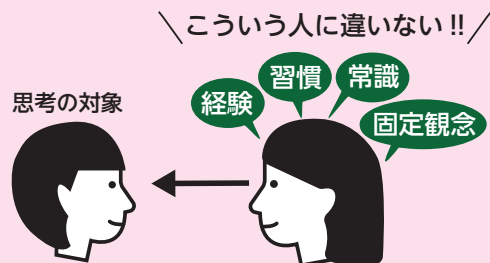


☎ 人権・市民相談課 ☎ 271

男女共同参画キーワード

【性別による「無意識の思い込み」】 (アンコンシャス・バイアス)

アンコンシャス・バイアスとは、自分では気付いていないものの見方や捉え方のゆがみ、偏りのこと。経験や知識、情報などから身に付けられ、誰もが持っており、それ自体に善悪はありません。しかし、相手の性別によって判断しているものも多くあり、無意識の思い込みに気付かずにいると、価値観や行動を押しつけてしまい、意図せず周りの人を傷つけてしまう場合があります。



アンコンシャス・バイアスは、過去の経験や情報、知識などから生まれる。

気遣いの中にも潜む「思い込み」

例) 上司が部下に遠方への出張を命じようとした際、「子育て中の女性にはかわいそうだな」と気遣い、小さな子どものいる部下の女性Aさんの意向は問わず、部下の男性Bさんに出張を命じた。

この例の中には「家庭では女性が子育ての中心」「仕事では男性が女性よりも頑張る」という思い込みが潜んでいます。

もしかしたら、女性Aさんの家族の子育ては夫が中心で、女性Aさん自身も「たくさん経験を積んで早く出世したい」と考えているかもしれません。また、男性Bさんは「女性Aさんに任せるのはかわいそうだから仕方ない。でも、また自分の家族に負担をかけてしまうから本当は嫌だ」と思っているかもしれません。

気遣いは大切ですが、その気遣いの中に思い込みがあり、それが相手にとって本意ではない場合もあります。思い込みに気づき、互いの状況を素直に伝え、協力し合える環境を作ることが、性別にかかわらず誰もが活躍できる男女共同参画社会へつながっていきます。

■ こんな思い込みはありませんか

「男性は仕事をして家計を支えるものだ」

「デート代は男性が負担するべきだ」

「女性だから料理が上手だろう」

「お茶くみは女性の仕事」

→世間の常識と思われることにも思い込みは多く潜んでいます。ほかの人はどう思うかを考える習慣をつけましょう。

■ アンコンシャス・バイアスを解決するためのステップ



男女共同参画セミナー

「パパに考えてほしいこと ～ジェンダー平等時代の子育て～」

気付かないうちに男らしさや女らしさを子どもに押しつけていませんか。生き方や性のことなど、子どもたちに伝えたい大切なメッセージを、仕事と子育てに奮闘する太田啓子さんと一緒に考えます(手話通訳あり)。

とき 3月4日(土)午後2時～3時30分(午後1時30分開場)

場所 ピアザ☆ふじみ

定員 35人(無料、申込順) ※男女問わず参加できます。

共催 富士見市男女共同参画推進会議、市

申込 2月1日(水)から平日午前8時30分～午後5時15分に直接または電話で

※市ホームページからも応募可

※お子さんの同伴可。保育あり(1歳～未就学児、5人、要予約)

※Web会議システム「Zoom」による参加も可(申込：2月1日(水)～3月2日(木))

問・申込先 人権・市民相談課 ☎ 271



講師／太田 啓子 氏
『これからの男の子たちへ』著者、弁護士